

Convento de Jesus em Aveiro

について



写真: Museu de Aveiro

アヴェイロのジェズ（Jesus）修道院 現在見られるこの修道院のファサードは、18世紀に作られたもので、美しいペディメントで飾られた3箇所の入り口のうち、中央のペディメントには王室の紋章が付いています。この建物には、昔の建造物の一部が残されていて、玄関ホールとして使用されたアトリウム、ルネッサンス様式の円柱を残す15世紀の回廊、アズレージョで装飾されたマヌエル様式の礼拝堂、チャプターハウスなどがそれにあたります。教会内部には、金細工師の仕事ぶりを偲ばせる、金箔を施した16世紀後半のすばらしい木工作装飾で飾られた主礼拝堂があります。壁面は、アズレージョで覆われていて、ドン・アフォンソ5世（D.Afonso V）王の娘、聖ジョアナ（Santa Joana）王女の生涯の中からいくつかのシーンが描かれた絵画が飾られています。信者が礼拝の勤めに参加する場所である、教会の下端聖歌隊席には、繊細な彫刻が施され、様々な色のイタリア産大理石が複雑に埋め込まれた聖ジョアナの墓を見ることができます。この墓の設置は、1461年に、ローマ教皇ピオ2世（Pope Pio II）が発行した大勅書によって認められました。墓は、色とりどりのバロック様式の天井の下で、彫刻による装飾が施された木造の壁面や、アズレージョ、大理石に囲まれています。王に仕える建築家、マヌエル・アントゥネス（Manuel Antunes）が設計したこの墓の制作には、数人のポルトガル人職人たちが携わりました。その制作は、ドン・ペドロ2世（D. Pedro II）の命を受けた直後の1699年に始まりましたが、王女の遺骨は、1711年になってようやく納められました。アヴェイロでは、王女の死を記念して、5月12日（この地方の祝日にあたる）にジョアナ王女に捧げる宗教祭事を行っています。この祭では、この地への巡礼とともに礼拝の行進が行われ、貴婦人や騎士、王子、小姓などに扮した人たちも行進に加わります。

問い合わせ先

Av. Santa Joana 3810-329 Aveiro

電話： +351 234 423 297

ファックス： +351 234 421 749

バリアフリー案内